

四日市市の 予算 と

その 使い道



予算とは、1年間(4月から翌年3月まで)における収入と支出の計画のことです。

予算を見れば、本市がこの1年間でどのような収入を見込み、何に使おうとしているのかが分かります。

この特集では、平成27年度の本市の予算の使い道を紹介します。

平成27年度当初予算の特徴は？

平成27年度は、本市のまちづくりの10年計画である総合計画の5年目で、折り返しの年度に当たります。予算編成に当たっては、総合計画に基づく「第2次推進計画」(平成26~28年度)に掲げる事業に優先的、集中的に予算を配分しました。

また、市民の生命、財産を守るための防災・減災対策に加え、「地方創生」の視点から、地域経済の活性化、本市の魅力の創造・発信や、子育てをはじめとする社会保障の充実に重点を置いた予算となっています。



予算額(総額)

2,580億1,205万円 (前年度比3.7%増)

本市の予算は3つの会計に分類されます

一般会計

1,183億9,000万円

前年度比9.7%増

行政運営の基本的な経費を計上する会計(防災や教育、福祉、道路整備など)

特別会計など

821億7,846万円

前年度比5.6%増

一般会計とは区分して経理する会計(国民健康保険、介護保険、競輪の運営など)

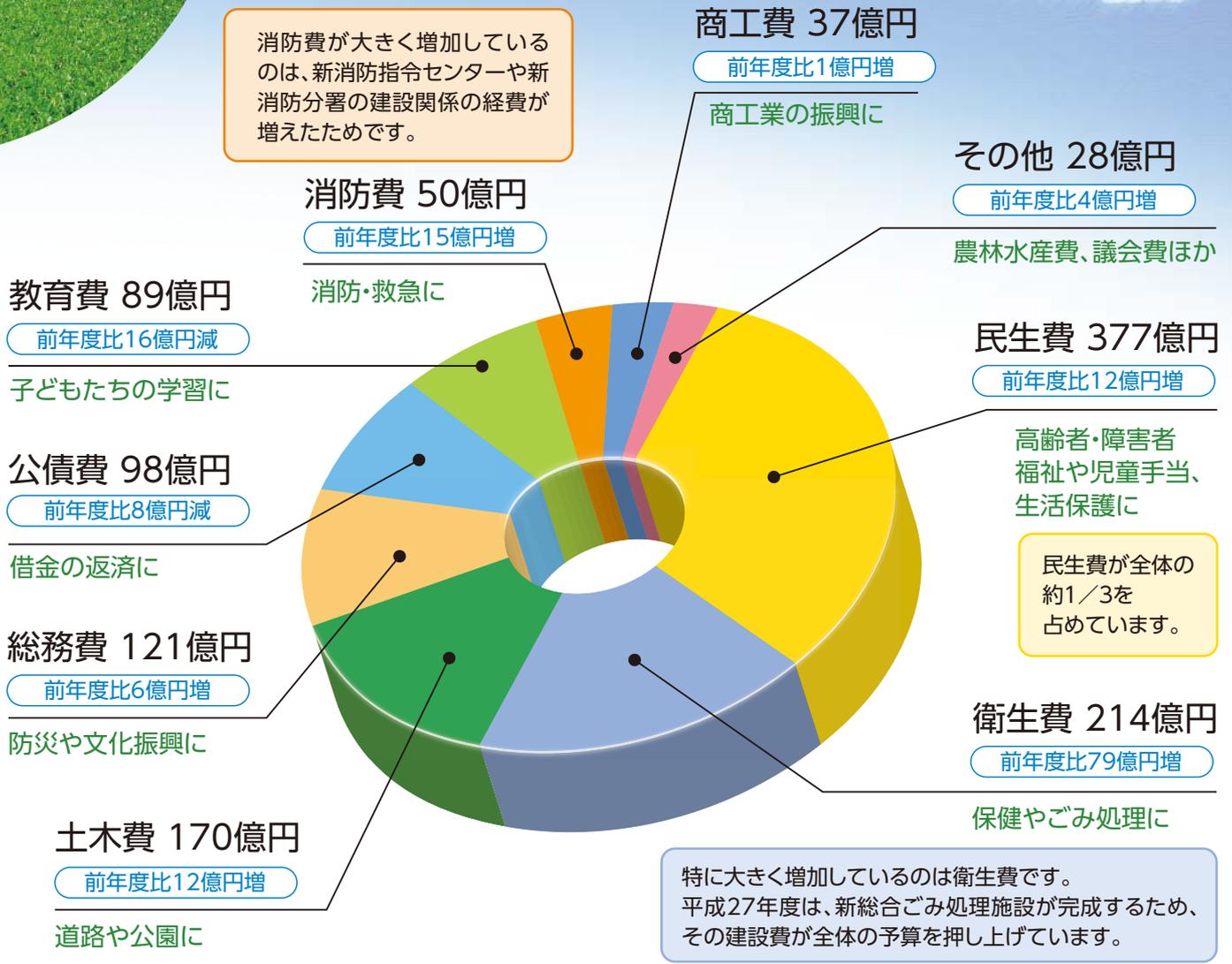
企業会計

574億4,358万円

前年度比8.9%減

地方公営企業法により収益性のある事業に適用される会計(上下水道、市立四日市病院)

一般会計 **歳出** 1,183億9,000万円(前年度比9.7%増)



特別会計・企業会計など

区分	取り組み内容	予算	前年度比	一般会計からの繰入金	
特別会計	競輪事業	通年でナイトー競輪を開催し、売り上げを確保。事業収益のうち1億5,000万円を一般会計へ繰り出し、福祉、教育などの事業に充当	188	+9.8%	1.5億円を一般会計へ繰り出し
	国民健康保険	市民の皆さんが安心して生活できるよう必要な医療制度を運営	349	+7.4%	16
	食肉センター食肉市場	安全な食肉を安定供給するための事業	7	+6.8%	4
	介護保険	介護が必要な人に対する保険給付や総合相談支援などを実施	211	+3.0%	31
	後期高齢者医療	75歳以上の高齢者の医療制度を運営	54	+0.6%	30
	その他	土地区画整理事業、農業集落排水事業など	12	-23.3%	6
	企業会計	水道事業	安心しておいしく飲む水道水を安定して供給するための水道設備の維持・運営	101	-4.3%
病院事業		急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、安全・安心で良質な医療を提供	221	-12.9%	10
下水道事業		浸水被害を防ぐための「雨水対策」、生活環境の向上やきれいな川や海を保つ「汚水対策」を実施	253	-6.9%	69
財産区	財産の一部をアスレチックコースなどとして貸し付け、その収入で山林の管理を実施	0.4	+3.6%	—	

※会計はすべて表示単位未満を四捨五入しており、合計と合わない場合があります

具体的にどんなことに使うの？

平成27年度の主要な事業

防災・減災など市民の安全・安心

■総合防災拠点の整備に向けて

予算額 **1,270万円**

大規模災害時に、救援物資の受け入れや消防・自衛隊の応援を受ける際の拠点、さらに、仮設住宅用地としての活用など、さまざまな機能を持った「総合防災拠点」(寺方町～曾井町周辺の約25,000㎡)の整備に向け、調査や測量に着手します。



総合防災拠点

■防災備蓄倉庫等の強化

予算額 **5,130万円**

災害時に各地区の避難所へ救援物資を配送するための拠点である安島防災備蓄倉庫の備蓄品のさらなる充実を図るとともに、新たに市の北部と南部にも拠点防災倉庫を整備します。(南部は平成29年度、北部は平成30年度供用予定)



安島防災備蓄倉庫

(仮称)南部拠点防災倉庫

- ・用地:約3,400㎡(波木町)
- ・建物:鉄骨造平屋 延べ約600㎡

■家族防災手帳を配布

予算額 **1,020万円**

家庭や学校での防災に役立ててもらうため、「家族防災手帳」を作成し、市内全戸と公私立小・中学校へ配布します。

緊急時の連絡先や避難計画を書き込む欄があるほか、命を守る心得などさまざまな防災情報を紹介します。



例:宮城県多賀城市の手帳

家族防災手帳

- ・A5版で30ページ程度
- ・大人用と子ども用を配布

■新消防指令センターを整備

予算額 **12億8,664万円**

消防救急無線をアナログからデジタルへ切り替えるための整備を行うとともに、本市、桑名市、菰野町との3消防本部による新消防指令センターを中央分署内に整備します。



現在の四日市・桑名消防指令センター

■新分署整備も予定

予算額 **1億4,255万円**

新たな消防分署を南部(29年度供用予定)と北部(30年度供用予定)に整備します。

(仮称)南部消防分署

- ・用地:約1,700㎡(大字泊村)
- ・建物:鉄骨造2階建 延べ約500㎡

経済の活性化、産業の振興

■企業立地・設備投資の促進

予算額 **7億9,400万円**

地域経済の活性化や税収・雇用のアップにつながる新規産業の誘致や企業の新規投資を促進するための「企業立地奨励制度」について、交付期間の短縮や交付率のかさ上げ、成長産業への重点的な支援などにより、さらに実効性が高く企業が利用しやすい制度に拡充します。



■最先端・次世代産業の集積を

予算額 **8,600万円**

先進的な研究開発を進める企業を支援するための「民間研究所立地奨励制度」について、要件緩和および一部拡充を行うことで、制度の充実を図ります。

■中小企業のものづくりを支援

予算額 **2,303万円**

本市のものづくり産業の活性化を図るため、市内中小企業における人材確保や新商品・新技術の開発、国内外での販路開拓、海外展開などについて支援を行います。

■街なかで情報発信(電子看板)

予算額 **1,610**万円

近鉄四日市駅周辺に市政・観光・防災・地域情報などを発信するための「デジタルサイネージ」と呼ばれる電子看板を設置し、来街者への情報発信力強化を図ります。



■中心市街地の再開発を促進

予算額 **2,820**万円

民間事業者が中心市街地において計画中の再開発事業を、効果的に支援し、都心居住の促進と、中心市街地の活性化を図ります。

中心市街地(サンシ前) 再開発促進事業

- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・デイサービスなど



イメージ模型

■四日市あすなろう鉄道(内部・八王子線)の維持・活性化

予算額 **7億6,063**万円

4月から、本市が鉄道施設や車両を保有する公営民営方式での運行となりました。安全運行を継続していくため、車両の新設や施設の改良を行うとともに、駅前広場の整備に向けた設計なども進めていきます。



秋から登場予定の新デザイン(外装・内装)

■コミュニティバスの支援

予算額 **998**万円

市民主体で運行するコミュニティバスへの支援を拡充するとともに、交通が不便な地域における新規路線に向けた検討を進めていきます。



環境先進都市への展開

■四日市公害と環境未来館

予算額 **8,583**万円

3月に開館した「四日市公害と環境未来館」では、環境に優しい暮らしを考えるワークショップや講師を招いての環境講座・エコ工作、エコパートナーとの協働による環境学習などを実施し、環境について考えるさまざまな機会を提供します。



展示エリア

■博物館展示とプラネタリウム

予算額 **5,289**万円

開館20年を経て、リニューアルした博物館では、魅力的な企画展示を行うとともに、世界最高水準のプラネタリウムを生かして宇宙や地球環境への関心を高める番組を放映します。



新しいプラネタリウム

新プラネタリウムの特長

- 約1億4千万個の星を放映(世界最多)
- 約9,500個の星の色を再現(世界初)
- 高画質8Kプロジェクターを導入(世界初)

■新総合ごみ処理施設を整備

予算額 **116億6,512**万円

平成28年度の稼働に向け、北部清掃工場に替わる新たな焼却施設と不燃ごみや粗大ごみの破碎処理施設を備えた「新総合ごみ処理施設」を整備します。



完成予想図

- プラスチックも安全に焼却
- 高温で灰まで溶かす熔融方式
- 余熱で発電・余った電力は売電
- 不燃ごみ・粗大ごみは破碎処理

観光、文化やスポーツの振興

■観光を通じた市の魅力発信

予算額 **1,320万円**

本市の地域資源を見直し、再発見するとともに、新たな観光資源として磨き上げ、本市の魅力を広く発信するための条例や戦略を策定します。

観光大使や「こにゅうどうくん」を活用するとともに、三重テラス(東京にある三重県アンテナショップ)などを活用したイベントを開催し、本市の魅力を発信していきます。



三重テラスイベントにて
(観光大使の小倉隆史さんと加藤ゆりさん、こにゅうどうくん)

■国体を見据えたスポーツの振興

予算額 **1億750万円**

国体の開催に向けたスポーツ施設の設計を進めるとともに、スポーツ指導者の育成を支援するなど、ハード・ソフト両面でスポーツ振興を進めていきます。

中央緑地には新体育館とサッカー場を、霞ヶ浦緑地には野球場とテニスコートを計画しています。



中央緑地の施設整備計画(イメージ図)

■芸術文化活動の場づくり

予算額 **4,960万円**

旧三浜小学校を有効活用し、芸術文化活動における練習・発表や生涯学習の場、および地元の地域活動施設を併せ持った施設の整備を行います。



旧三浜小学校

■地域の文化遺産の保存・継承

予算額 **290万円**

獅子舞などの伝統的な文化行事などの担い手育成などを支援します。

また、「鳥出神社くじらぶねの鯨船行事」を含む「山・鉦・屋台行事ほこ」のユネスコ無形文化遺産への登録推進を図る取り組みを行います。



鳥出神社の鯨船行事(富田)

教育環境の充実や子育て支援などの社会保障の充実

■小・中学校の空調整備(特別教室)

予算額 **2億730万円**

前年度の図書室に引き続き、小・中学校の視聴覚室に空調を整備します。

空調が整備された図書室
(全小・中学校に整備済み)



■子ども医療費の無料化

予算額 **7億3,520万円**

子育て世代の家庭に対し医療費を助成することで、保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもの疾病の早期発見・療育を促進します。

これまでの小学生以下の入・通院と中学生入院分に加え、新たに中学生の通院分まで助成を拡充します。(9月から)

これにより、義務教育期間中の子ども医療費は無料になります。



■地域での支え合いを支援

予算額 **600万円**

NPO法人やボランティアなどさまざまな主体が地域で介護予防・生活支援の活動を実施しようとする際の経費の一部を支援することで、地域での支え合いの仕組みづくりを促進します。



■認知症に関する支援

予算額 **2,636万円**

認知症の早期発見・早期対応を行う「認知症初期集中支援チーム」を設置するとともに「認知症地域支援推進員」の配置や、認知症に関する情報を示した「認知症ケアパス」の作成などを行います。

認知症の人やその家族が、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指します。



市の収入にはどんなものがあるの？



一般会計 **歳入** 1,183億9,000万円(前年度比9.7%増)

その他 127億円

前年度比23億円増

地方交付税・地方譲与税 33億円

前年度比2億円増

地方消費税交付金 52億円

前年度比17億円増

平成26年4月1日からの消費税率引き上げに伴う地方の増収分については、全額を少子化対策や介護などに使います。

市債 109億円

前年度比17億円増

国・県支出金 259億円

前年度比51億円増

市税 604億円

前年度比5億円減

《内訳》
固定資産税 285億円

個人市民税 185億円

法人市民税 52億円

その他
(事業所税・都市計画税など) 82億円

ポイント

- 平成27年度は、新総合ごみ処理施設の建設費の財源となる国庫支出金や市債が増えています
- 市税が歳入の51%を占めます
- 固定資産税が市税の47%を占めます

固定資産税の中でも事業用資産の割合が高いのが、産業都市である本市の特徴です。



事業所税の使い道

事業所税とは、人口30万人以上の都市などで、一定規模以上の事業を営む法人や個人事業者にかかる税金です。

【事業所税 平成27年度予算額 28.6億円】

主な使い道

- ・下水道の整備に 8.5億円
- ・環境施設の整備に 1.9億円
- ・道路の整備に 8.4億円
- ・スポーツ施設の整備に 1.1億円
- ・小・中学校の整備に 7.4億円

市内の中小企業の負担を減らすため、「四日市市税条例の特例に関する条例(平成22年8月施行)」に基づいて事業所税を減額する特例措置を引き続き実施します。

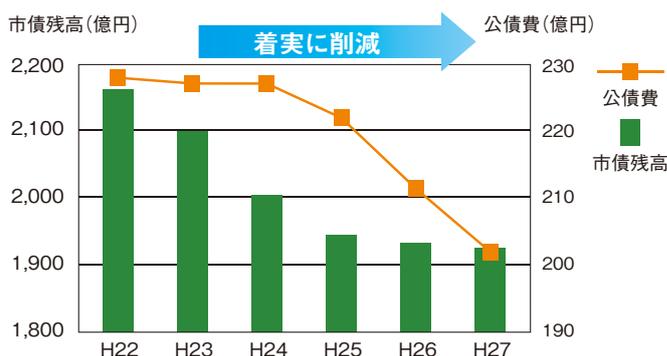
財政健全化を着実に進めています

本市では、「四日市市行財政改革プラン2014」において、「健全な財政運営」の視点と、「持続可能な財政基盤の確立」の2つの視点を定めています。

プランでの視点を踏まえ、市債発行額の管理を行った結果、市債残高は着実に減少しています。また、残高の減少に伴い、返済するための資金である公債費も減少しています。今後も将来を見据えた財政運営を行っていきます。

市債残高(平成27年度見込み) 1,927億円

■市債残高と公債費の推移(全会計)



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政経営課 ☎ 354-8130 FAX 359-0275

広報広聴課 ☎ 354-8244 FAX 354-3974